

朝日新聞 1985~ 週刊朝日・AERA	朝日新聞縮刷版	知恵蔵	人物	歴史写真
-------------------------	---------	-----	----	------

[検索一覧画面へ戻る](#)

朝日新聞社 聞蔵IIビジュアル

総件数： 17件

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数
00006	1997年02月20日	朝刊	1 総	001	01052文字

国交正常化への外交文書、外務省が韓国に非公開要請 日朝交渉理由に

一九六五年の国交正常化まで十五年に及んだ日韓交渉の外交記録文書をめぐり、部分公開に踏み切る方針を決めていた韓国外務省に対して外務省が昨年末、「日朝交渉への影響」などを理由に公開を全面的に差し控えるよう伝えていたことが十九日、分かった。日本側の要請を受け、韓国側は日韓交渉関連の記録をすべて削除したが、「できるだけ早い時期に部分公開したい」（韓国外務省筋）と日本側に再考を求めている。

日韓両国の外務省筋によると、韓国外務省は情報公開法に基づいて、日韓正常化交渉の部分公開を内定、昨年十一月、今年の公開リストを日本側に通告した。当時の交渉で最大の懸案だった漁業交渉や賠償請求権、竹島（韓国名・独島）の領有権問題などについては、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）との国交正常化交渉への配慮や、「国民感情を無用に刺激する」（同）などの理由で当面「全面非公開」の原則は崩せないが、手続き面や実務会談に関する外交文書については漸次公開していく指針を提示した。

韓国側が部分公開を内定したのは、日韓交渉関連計約百六十件のうち、七次にわたる日韓会談と予備会談の議事運営録、植民地時代に日本へ渡った文化財の返還問題、在日韓国人の法的地位関連など約四十件。

日本も韓国同様、交渉成立後三十年を過ぎた文書は原則として公開しているが、韓国側の公開決定に対し、ソウルの日本大使館員を通じ「たとえ一部公開でも、日朝交渉や日韓の信頼関係への影響を強く懸念する」と韓国外務省アジア局の課長レベルに口頭で伝えた。その上で、在日韓国人の法的地位など国籍関連の文書公開に法務省が難色を示していることなどを挙げ、慎重に再検討するよう求めた。特に交渉における日本側提出文書については「一切同意しかねる」とのコメントを付けた。

韓国側は今年一月半ばからの文書公開時での実施については日本側の要請を受け入れたが、「今回公開を見合わせた案件を来年一月の文書公開時に公表したい」（韓国外務省幹部）と、日本側に再考を促している。

日韓交渉をめぐる文書公開の是非は両国外務省のアジア局長会議などでもとり上げられ、「日本側が韓国の方針に強いクレームをつけた」（同）ため、「日本と協議の上、最終決定する」ことで事実上、決着。韓国側が昨秋ごろまでに今年の公開文書のリストを提示する段取りになっていた。

部分公開で再考を求める韓国側に対し、日本の外務省は「両国が納得のいく部分から公開することにはやぶさかではない」（外務省幹部）として一応前向きな姿勢をみせている。

[▲前の記事](#) | [▼次の記事](#) | [▲最初の記事](#)

[このページのTOPへ](#)

[🏠 検索一覧画面へ戻る](#)

■聞蔵IIビジュアル・フォーライブラリー及びその収録記事・画像等は、日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。著作権者の許諾を得ることなく著作物を利用できる著作権上の例外的なケースを除き、収録記事・画像等を本サービスの利用規定に定める範囲を超えて無断で複製、公衆送信、翻訳、翻案、配布、販売等を行うことはできません。その他、朝日新聞社及び第三者の権利を侵害する一切の利用をお断りします。→「聞蔵 著作権について」はこちら

Copyright 2009 The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.